



高齢者の肺炎球菌定期接種について よくある質問



番号	質問	回答
1	肺炎球菌感染症とはどんな病気ですか？	肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛まつ感染します。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。肺炎は我が国の死因の第5位となっています。
2	定期接種とはなんですか？	予防接種には、法律に基づいて市区町村が主体となって実施する「定期接種」と、希望者が各自で受ける「任意接種」があります。接種費用は、定期接種は公費ですが（一部で自己負担あり）、任意接種は全額自己負担となります。
3	令和8年度から肺炎球菌感染症定期接種に用いるワクチンがニューモバックスNPからプレベナー20に変更になったと聞きましたが、令和8年4月からはニューモバックスNPを接種すると定期接種にならないのでしょうか？	予防接種法が改正され、令和8年4月1日から高齢者の肺炎球菌感染症に使用できるワクチンはプレベナー20のみになりました。他のワクチンを接種された場合、定期接種の助成を受けることができませんので、ご注意ください。
4	過去に任意（全額自己負担）で「肺炎球菌ワクチン」を接種したことがありますが、定期接種を受けられますか？	既に「肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある方は定期接種の対象とはなりません。